

安心・安全に
住み続けられる
コミュニティ形成

知ら咲か



2014 SEPTEMBER No.18

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3 (TEL)070-5041-4405 URL <http://www.shirasaka8.net/>

白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして「知らせましょ・咲かせましょ(通称“知ら咲か”)という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTEL070-5041-4405 石田まで)

支え合い・助け合いの活動は

「この地域に住み続けたい」という思いから

自然環境に恵まれたこの地域で「ずっと住み続けたい」方が多いようです。しかし、昔の町内会のような比較的同質な人々の集まりが安心安全につながるという方式はマンションという異質な方の集まりでは必ずしも通用しない面もあります。安心安全は「住み続けたい」という思いが出发点でしょう。

地域に住み続けたいという思い

この地域に居を構えた動機は六甲山、甲山、あるいは目の前がゴルフ場など「緑に囲まれた自然環境」という理由が上位にきます。

しかし、入居時は現役でばりばり働いていた方も年月と共に体力面の衰えは隠せない、お子さまが独立し夫婦だけの世帯、あるいは一人暮らしの生活になったというのも現実でしょう。

坂道の歩行は大変、買い物不便、いざという時にどうしようなど一人では解決できないことも出てきます。

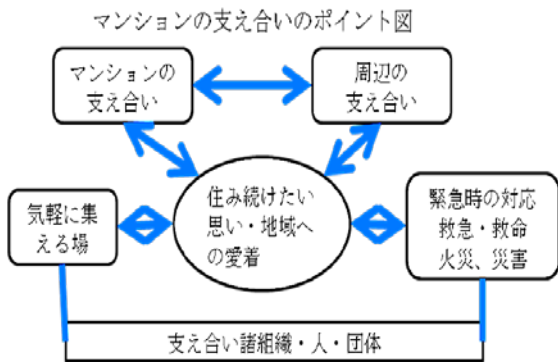
一人一人のプライバシーが独立し守られた状態のマンション住民の、それぞれの異質性を大切にしながらも、いざという時に備えたつながりづくりが急務となっています。異質なものの協働というのが現実のテーマであり、その原点がそれぞれの方の「地域に住み続けたい」という思いでないでしょうか。

気軽に集いの場に参加

この地域の八マンションにはそれぞれ集会所があります。そこで趣味や学

習、サロン、助け合い組織など様々な住民の方の集まりがあります。

自身の活動の場を職場や地域外に足場を置いていた方にとって足元の自分のマンションに一步を踏み出すのは案外、勇気のいることです。集まっている人は見ず知らずと言ってもいい人達です。共通項は同じマンション住民というくらいです。でも、先に



「知ら咲か」も支え合いを目標とするいろいろな団体の一つです。

集まっておられる方は「ここにいつまでも住み続けたい」と思って知り合いづくり、仲間づくり、つながりづくりを行っています。初めての方を迎える時も気軽に受け入れてくれるはずですよ。集いの場に参加して同じマンションの知り合いを増やしましょう。

緊急時の対応に備える

一人暮らしの方が急病や家庭内事故などで様態が急変し住宅内で倒れてしまうことも起こり得ます。これを無くすることはできませんが、その時に対処することは支え合い活動で可能なこともあります。又、火災、震災時などにも様々な備えが必要です。

様々な活動が思いを可能に

いつまでも住み続けたい思いが、地域でのつながりを生みます。つながりを生むことで、それぞれの人達のできる範囲で、お互いに支え合い、助け合い関係が実現します。又、自分の得意技を地域に活かす活動が、いきがいになるという効果も多くの事例で証明されています。

「知ら咲か」は自由な発想が基本

いつまでも住み続けたい思いを叶えるため、地域の情報共有、助け合い支え合いのお手伝い、学習会、その他の活動を試行錯誤しながら行っています。できる人ができる時にできることを自由な形でというのが基本です。

10 月 14 日、15 日に大型ゴミの回収を実施しました

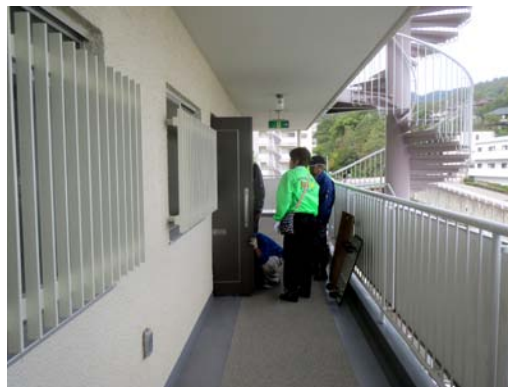
今期の大きな事業の一つとして、大型ゴミの回収を広報「知ら咲か」8月号のアンケートを通じて希望を募り、昨年に引き続き10月14日(火)、15日(水)の両日にわたり、台風19号の影響を受けることなく無事に実施いたしました。

今年は8マンション全体で49件処理を致しましたが、昨年の22件に比べ倍以上の27件の増加となりましたが、回収活動をする中で多くの方々から感謝のお言葉をいただきました。今後ともそのご要望、必要性に重い責任を感じております。

今回も回収依頼をいただいた中で、高齢者世帯をはじめ家族ではどうしても対応できないところでは役員やボランティアの皆さんの協力により対応いたしました。加えて実施日までに「知ら咲か」の役員が手分けして個別の対応を通じて事前準備をさせていただきました。

次回以降の実施につきましては、その時期、回数、費用算定等について、これからますます回収希望が増えることを考慮して協議検討を重ね、その結果を広く広報してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

なお、広くボランティア活動の担い手を募集いたしております。ボランティアとしてご協力いただける方は、どうぞ事務局(070-5041-4405)までお申し出下さい。ご協力をお待ちいたしております。



災害の種類に応じた適切な避難場所 それは家族の状況によって違ってくるのかも。

私は、6年前に逆瀬台に参りました。この静かで自然豊かな地域の中で、残りの人生を過ごしていきたいと思い、知ら咲かのメンバーとなりました。色んな事を考えるようになりました。もちろん、自分の人生のためですからあたりまえかもしれませんが……。その中で、この頃、自然災害の規模が大きくなってきていることなどについて思案するようになってきました。

台風19号が大暴れをして通り過ぎましたね。身近なところでは大雨の際の土砂崩れ、などを感じさせた、ごく最近の突然の豪雨も記憶に新しいところです。海底プレートの構造で何十年おきに起きる大地震も避けられない運命にありそう。未知の病気などは予防法などで、気を付けていれば避けられるかもしれませんが、天災から逃げることはできないようです。

自然災害が起きたときに、行政は私たちに避難場所を指定してくれています。

この地域ですと、逆瀬台小学校と宝塚西高等学校体育館でしょう。

でも、ご存じのとおり、逆瀬台小学校は山の頂上にあります。天候の良い時でも白瀬川近辺から上っていくのは辛い場所です。そのため、宝塚ゴルフクラブなど、住民が実際に避難できそうな場所の再設定が必要になってきています。

ここで、もう1歩踏み込んで考える必要を感じ始めておられる方も多いと思いますが、何があってもこの避難場所があれば……というのは最高の方法ではないということです。

例えば前回の雨台風の際に、徒歩で避難をという指示の出たところもあったらしいのですが、大雨の場合はマンションでしたら3階以上の高さのところへの避難のほうが安全な場合が多いです。足を滑らせたり、土砂崩れに合ったりする危険のある屋外に出るのは危険でしょう。

災害の種類によっては避難場所へ逃げるのがベストとは言えない場合が起きてくるといえます。

また、地震などでも家族構成によっては、自宅避難という方法も考えられると思います。足の不自由な方や、環境の変化が致命的な超高齢者の方のおられる場合は状況が許すなら自宅にて救助を待つという方法が一般的になってくることがありがたいと思います。

考えなくてはいけないのは、自宅待機の間が何人という把握が各自治会などできちんとなされないと、ただの取り残された人になってしまうということです。各マンション、で助け合いや自助グループが出来上がっているこの地域で自宅避難という言葉がポピュラーになっていったら嬉しいです。

そのためにはいろんな問題があるでしょうし、一つ一つ解決していかなければなりません。時間もかかるでしょうが、この地域で気持ちを一つにして話し合いクリアーにしていけたらいいと思います。

高齢化という言葉は否定的な言葉ではなく、とてもおめでたい、幸せな言葉です。

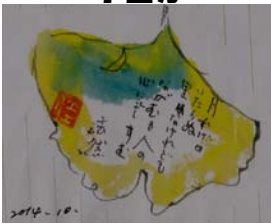
安心して高齢者、超高齢者になって、この地域で暮らしていくためにも、災害を闇雲におそれず、ばかにせず、最適な避難方法を考え、実行できるように行政にも図り、住民全体がそれを理解納得して立ち向かえるようにしていけたらと思っています。



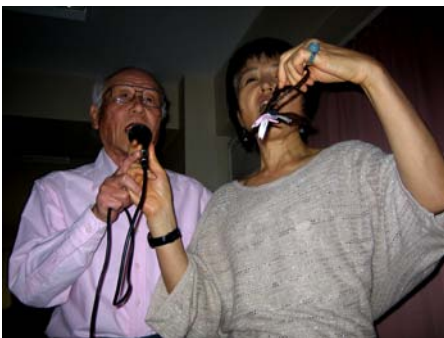
す て き な
ご 近 所 さ ん



ラジオ体操から
1日が...



太陽が昇り始めます。爽やかな日差しが廻りを包みます。鳥のさえずり、木々のざわめき、白瀬川両岸は最高の環境です。朝のジョギング、ウォーキング、ラジオ体操、お仕事、サークル活動と一日の始まりです。おはようございます！少し寒くなってきましたね！行ってらっしゃい!! 皆さん、笑顔でご挨拶。素敵なお近所さんと今日の出逢いです。嬉しくもあり、楽しみでもあります。スナップ写真を撮らせていただきました。



サークル活動で元気なお近所仲間が...





ワンちゃんも立派な見守りに..



この地域には
こんなにしてきで元気な
ご近所さんがいっぱい・・・
ずっと、ず～っと
よろしくお願いします



「素敵な出会いがありました」

二宮 満雄

知ら咲かの大型ごみ収集の日、事務局の1員として、逆瀬川マンションの集会室に詰めていた所、Iさんという奥様がお見えになり、話をしている内にご主人が、碁をお打ちになるという話が出て、つい、私も昔打っていましたと申し上げたら、それでは主人に話をしてみると言ってお家に帰られました。その後、ご主人が来られ、碁を打つことになりました。その方は、ご高齢ですが、有名大学の医学部の医局から、某有名総合病院の精神科医師を務められた先生でした。私は精神障害者の支援施設の理事長をしていますので、その旨を申し上げると、とても喜んでくださり、ご自分の経験をお話しいただきました。精神障害についてのも市民啓発の遅れを指摘され、講演などについてもご協力いただけそうです。とても有意義な出会いの日となりました。

ちょっとしたきっかけが
共通の話題や趣味から
すてきなご近所さんとの
出逢いとつながりが
始まります。



私にもできるの…かもしれない 「知ら咲かタブレット教室」スタートしました!!

知ら咲かでは、高齢化に向かって画面の大きなタブレットを、見守りや、安否確認に使えたら便利と考えました。下調べをしながら皆さんにご説明にまわったり、実際に見守りの必要な超高齢者の方に使ってもらったりもしました。でも、若い人たちのように小さい時から IT に触れていない世代には新しいものに挑戦するのは 1 からの出発で、最初から見守りや、安否確認など使いこなすのはたいへんということがわかりました。

ポケットベル。PHS。携帯電話。ワープロに感動していたら、パソコンも大きなデスクトップから膝の上で使えるラップトップなど進化し続けています。

こうやって羅列している間にも新製品が出現しそうです。

そして、タブレット。携帯より大きくて見やすい。パソコンほどおおげさでない。ちょっと触ってみたい…、と思えるお手頃サイズの便利そうな…。

そんなタブレットを初心に帰って本当の 1 歩から始めてみましょうということで、9 月からタブレット教室を開催しました。

日時 毎月第 1、第 3 木曜 10 時から 11 時 30 分
場所 逆瀬川マンション 集会室
費用 体験 500 円、3 回目から 1000 円
講師 藤田浩先生
見学随時 OK です。



現在、生徒は 4 名。全員初心者で、習い始めた動機も孫の写真が大きくて見やすい、タブレットをもらったなどですが、出来ないから…というのが一番の理由です。全員が最初、「私には無理だと思う」と言いつつ始めました。

ある日の授業で…

Q「ID って何？」→ A「通帳の口座番号のようなものです」

Q「パスワードは？」→A「通帳の暗証番号ですね」 (Q:生徒の質問、A:先生の答)

禅問答のような風景ですが、カタカナに拒否反応を示す私たちの世代には、大変よくわかります。

藤田浩先生は宝塚市在住の方です。知ら咲かとは、タブレットでの見守りなどを考えたところからのお付き合いで、私たちの世代のことや、何を必要としているのかをよくご存じです。

IT 関係の仕事に 30 年近く従事なさった後、「パソコンを通じてシニアや、機械の苦手な方にタブレットの魅力を伝え一人でも多くの方に素敵なスマートライフを」と考え現在の「パソコンコミュニティ Fuji」を立ち上げられました。

タブレットという現代の玉手箱のような便利でスマートな機械。

若い人だけのものではありません。字の大きさ、お手頃のサイズ。

価格設定なども、機械の値段、維持していく値段など、それぞれの予算に合う使い方を教えてもらえます。

皆さんぜひ、体験においでください。

11 月は 6 日と 20 日に行く予定です。

□体験申し込みは

事務局まで御連絡下さい (Tel 070-5041-4405)



ゆずりはコミュニティ ネットワーク会議及び2地区セーフティネット会議

(高齢者福祉問題に関する地区研修会)のご報告

宝塚市社会福祉協議会 谷口 英嗣

10月に開催されました2つの会議について、ご報告させていただきます。まずは、ゆずりはコミュニティのネットワーク会議が10月5日(日)に逆瀬台小学校にあるコミュニティルームで開かれました。当日は、30名を超える参加者のもと、逆瀬川地域包括支援センターからは、「認知症について」ということで認知症という病気についてお話があり、基本的なことを学びました。

社協からは、「たからづか地域見守り隊」についてお話させていただきました。これは、地域の事業所に協力していただき、配達事業所であれば高齢者等のお宅に訪問した時、店舗であれば窓口対応等で異変を察知した場合に連絡していただき、地域包括支援センターを中心に状況確認を行うというものです。事業所からの通報事例をいくつかお話させていただき、家の中で倒れていた方を助け出した例もご紹介させていただきました。もちろん、事業所だけでなく、地域での見守り力・発見力も非常に大切だということをお伝えさせていただきました。



このようなステッカーをまちで見かけたことがありますか？



次に、10月11日(土)には西公民館にて、自治会連合会発案により「2地区セーフティネット会議(地区研修会)」が開催されました。この会議では、逆瀬川地域包括支援センターからは「介護保険改正について」のお話、社協からは「地域内の見守りについて」お話させていただきました。

「地域内の見守り」では、「知ら咲か」の石田会長にもご協力いただきまして、「地域とつながる

集合住宅団地の支え合い」として、過去から現在に至るまでの活動を詳しく紹介していただき、参加者の方々が石田会長のお話に耳を傾けられていました。

参加者からは、石田会長へ活動に対する質問が出て、自分の地域へ持ち帰ろうとする気持ちがあがりました。

最後に、私から現状の課題は制度では対応できないケース(いわゆる制度の狭間)の増加に対して、住民・専門職・行政等が協力して解決方法を開発していくこと、そして、これからの地域福祉は制度の狭間を作らない対応と地域での見守り力・発見力が大切であり、事後的発見から早期発見・早期対応していくためにも、それぞれのエリアでの協議の場が大切であるということをお伝えさせていただきました。

11月の自然

『落ち葉の季節』

写真はゆずり葉公園で

秋が深まり気温が低くなってくると野山の木々の葉が紅や黄に色づき、さらには葉っぱが木から落ちます。散るのは落葉樹だけですが・・・。

秋になり日照時間が短くなり気温が下がるにつれ、木々の水分を吸い上げる力が弱くなってきます。落葉樹の葉は面積が広いため水分が蒸発しやすいので葉を落とすことで水分収支のバランスを取っているといえます。乾燥する冬には葉の裏の気孔からどんどん水分を奪われてしまうので葉があると木全体が染んでしまうことになります。だから葉っぱを全部捨ててしまい春を待つことになります。

木は根から必要なものを吸収するのですが間違っって吸収したものや老廃物を葉っぱに蓄えています。これを年に 1 回根元に落としそれがバクテリアなどに分解され木の養分になります。

自然界の循環構造で毎年、素晴らしい自然が保たれているのです。



知ら咲か会員登録、活動スタッフ参加ご希望は常時受け付けています。

「知ら咲か」は住民有志が会員として、あるいはボランティア協力スタッフとして、この地域の 8 マンションでみんなが安心して安全に住み続けられるコミュニティを目指し様々な活動や試みを行っています。制度に縛られない任意参加を原則とした団体ですので皆様の可能な範囲、方法での参加、ご協力をお願い致します。

○会員登録はゆうちょ銀行口座振替 00990-3-202345 「知らせましょ・咲かせましょ」へ

個人年会費 3000円 (ゆうちょ銀行通帳からATMで振り替えていただきますと「知ら咲か」の手数料負担も不要となります。)

○活動スタッフ登録はTel070-5041-4405事務局 石田までお願いします。

【編集後記】

粗大ゴミ処理は大型台風十九号の影響が懸念されましたが結果よし！昨年よりノウハウもアップして想定外のハプニングにも何とか対応でき継続することの大切さを実感しました。多くの皆様に喜んでいただけたことと「今度は何時ですか？」とお問い合わせも多く戴き事務局一同の励みとなりました。

次回は更に充実して早期に実施できますよう検討いたします。

広報紙をご覧いただいた方から事務局あてのご連絡が着実に増えています。広告のお申し出もありません。囲碁仲間のお探し案件にはグリーンハイツさん、逆瀬川マンションさん各二名を繋ぎ実現しました。

お陰様で事務局陣容が更に充実しました。広報紙に於いて五名の方には順次自己紹介をお願いします。一級建築士、カラオケ名人、海外勤務経験、乗馬名人、ピアノ演奏など多士彩々です。ご期待ください！

「知ら咲か」では「こんなことではできませんか？」とのご要望、「こんなことでよかつたら私を役立てて」、「居場所はあるけれどもっと楽しい企画は？」「お隣さんとこんなことで親しくなれた」等々、皆様の声、ご希望など「無理なく、楽しく、着実に」形にしていきたいと願っています。ご協力・ご支援・ご声援よろしくお願いします。

(I)

協賛広告【「知らせましょ・咲かせましょ」の目的に賛同し、応援しています。】*両社HPへ知ら咲かHPからリンクできます

イタリアンレストラン
ロッソネロ



営業時間：ランチ 11:30 ~ 15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 18:00 ~ 21:00 (L.O. 20:30)

定休日：水曜日

TEL&FAX：0797-72-9696

宝塚市逆瀬台 1 丁目 11-4-202 アヴェルデ 4 番館 2F

www.rossonero.be5.net 「知ら咲か」広告登録会社

きっかけは
出会いから
始まる

株式会社 兵庫県知事(2)第300298号
キューコーレーション

不動産に関することは
お気軽にお問い合わせください

宝塚市高司 1-1-16 (A-プライス 2F)

0797-73-0041

www.cue41.com

「知ら咲か」広告登録会社

